



# 教会教育室だより

宣教部 教会教育室 2021.4.21発行



日本バプテスト連盟のホームページでご覧いただけます

## 時代と共に変化していく出版物

教会教育室 室長 富田直美（市川大野教会）

ウイズコロナとなって1年余りを過ごし、新年度を迎えました。「とりあえず」と始めたことが新しい教会様式になっていることもあるのではないのでしょうか。教会学校の学びをオンラインで始めた教会も増えています。一方で、人の温もりが感じられる教会学校の再開を待つ声も聞こえます。オンライン（バーチャル）か、オフライン（リアル）か、という二者択一に捉われることなく、学びが多様化していくことを豊かさとして「教会には世の中にはないものがある」ということを見失わないで「私たちが大事にしてきたことってたくさんあるね」とめぐみを数え、喜びを共にしていきたいと思えます。

それは機構改革を考え、新しい連盟の形を考えていく時にも共通しています。教会教育室の働きの一つに『聖書教育』の発行がありますが、現在の季刊での『聖書教育』は2022年度をもって終了することが、昨年11月の第2回理事会において承認され、その後は財政状況に見合ったボリュームの月刊化の方向で、今年2月の連盟定期総会で教会教育室の活動計画の一つとして承認されました。今後どのように諸教会の教会学校をサポートすることができるか、教会教育専門委員、『聖書教育』編集委員、連盟事務所の実務者と共に協議を進め検討を始めます。第67回連盟総会の折には、諸教会の皆さまへ、新しい出版物のイメージをお伝えし、ご理解いただけるようにと願っております。

## 教会学校レポート「始めました 教会コンビニ サンデーヨコハマ」 横浜戸塚教会

昨年から今年にかけての横浜戸塚教会のコロナ禍の中でのキッズミニストリーの様子を簡単にレポートさせていただきます。さて、私たちはコロナ前の2019年度から教会学校組織を辞めました。そして、キッズミニストリー、ユースミニストリー、成人ミニストリーという形でそれぞれにミニストリーリーダーを立て、キッズは日曜日の親子礼拝、ユースは日曜日礼拝後のユースルーム、成人は礼拝前のいこいのみぎわ（証と交わりのグループ）とウィークデイの聖書教室を中心に再スタートしました。その辺りの経緯はこのレポートでは収まりきらないので、また別の機会にお話しできればと思います。

揚々スタートしましたが二年目を目の前に、新型コロナウイルスのパンデミックが起こり、一旦は全ての活動が中止になりました。しかし、徐々にオンライン中心に活動を再開し、キッズについてはオンラインと対面で時短での親子礼拝を昨年5月より継続して行っています。ただ、イースター、サマーキャンプ、子ども祝福式のお楽しみプログラム、クリスマスなど楽しみにしていたプログラムのほとんどが中止や縮小となりました。何かできないかとキッズのリーダーと考える中で、土曜日と日曜日に教会コンビニ「サンデーヨコハマ」を開業することにしました。親子礼拝に参加した子どもたちはコンビニで使えるチケット「マンナ」がもらえます（オンラインで参加してももらえ、教会にストックされます。写真参照）。今のところ駄菓子やアクセサリ、文具などがコンビニは並んでいます。新商品の入荷を毎週楽しみにしている子。しばらくオンラインでしか参加できなくても教会には僕のマンナが貯まっていることを心の拠り所になっている子。礼拝はオンラインでも日曜日の午後に両親と散歩ついでに教会に立ち寄ってくれたりもします。また、教会の大人や青年が家に眠っていたちょっとした文具やアクセサリをコンビニに商品として持ってきてくれたりと不思議な交流が起っています。

今年は家庭菜園の野菜なんかもコンビニに並べてみたいと密かに考えています。子どもは野菜あんまりでしょうが……。コロナウィルスの終息は少し先になりそうですが、今できることで福音の種まきを続けたいと思えます。

みなさんのアイデアもぜひ教えてください。（堀野浩嗣）



オンラインと対面の親子礼拝。メッセージ中に折り紙作成



サンデーヨコハマ開店中



マンナをもってお買い物♪